

今回はスケジュールの構造化のお話です。見通しをたてる事は誰にとっても安心出来るんですよってお話です。僕も訪問授業で子ども達に伝えている基本の一つですね。宇宙人が突然現れて「さあ、行こう！」と言われて、誰が行くねん?! っちゅう話です ww あなたが誰で、どこに、いつまで行くのか解らないと誰でも不安ですよね～。

久田

## 第 81 回 『わかるように伝えていますか』

香川大学 坂井 聡

### スケジュールの構造化

次に「スケジュールの構造化」です。「スケジュールの構造化」は、今の活動が終わったら「何があるのか」をわかりやすく伝えるというものです。次に何をするのがわからない状況は誰でも不安であるとおもいます。

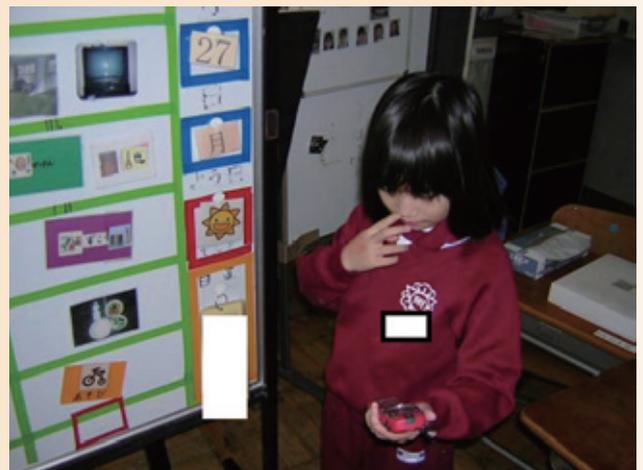
次にすべきことがわからない場合、「次はなんですか」と尋ねることができれば解決できることもあるのですが、そこで尋ねることができなかつたとしたら、何が起ころのかかわからないために不安になり、その不安と戦わなければならないのではないかと思います。

次に何をするのがわからない状況を想像してみてください。たとえば、言葉の分からない国に行って、一人そこに取り残された状況を想像するとよいのではないかと思います。

そのような状況は苦痛でしょうし、不安でしょう。また、エネルギーも使うことになるのではないかと思います。つまり、「スケジュールの構造化」は次にすべきことをわかりやすく伝えることで、安心して生活できるようにするためにするものなのだということです。

写真は、スケジュールを携帯電話で確認しているところです。スマートフォンなどの携帯型情報端末は、スケジュールの管理に使うことができます。携帯型情報端末でスケジュールを確認して、理解して自分で動くことができるようにするのです。

スケジュールを構造化して伝えるために携帯型情報端末も有効に使うことができるのではないかと思います。小さい時期から使っていれば、将来も困らないのではないかと思います。そのためには、携帯型情報端末を使うことができる環境を、学校の教育場面でも整えていく必要があるのではないかと思います。



### 坂井聡先生の紹介

(プロフィール)

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授 1997 年 自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。2013年より教授に就任。

(著書)

暮らしの中のコミュニケーション (やまびこの里) クラスルームコミュニケーション (こころリース出版会) 自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア (エンパワメント研究所) など